

自転車のまち堺を
一緒につくりましょう

自転車のまちづくりの推進

堺市では、平成26年10月に「堺市自転車のまちづくり推進条例」を施行し、堺の地場産業であり、環境にも優しい自転車を活用したまちづくりを進めています。

自転車通行環境整備事業

歩行者の安全を第一とし自転車の安全にも配慮した自転車レーンをはじめとする自転車の通行環境整備に取り組んでいます。設計時には、自転車利用者の立場にたつて、自転車の通行ルールがわかりやすくなるように心がけています。



大堀堺線自転車レーン

また、沿道住民や警察との調整や工事の発注及び監督、整備後には、自治会、高校やボランティア団体と協力しての自転車安全利用キャンペーンの実施など、マネジメント能力が養われる非常にやりがいのある仕事です。

自転車まちづくり推進室（平成18年度入庁 男）

自転車まちづくり企画運営事業

市民協働による交通ルール遵守・マナー向上の啓発活動や、事業所において自転車利用促進と交通ルール遵守に率先して取り組む自転車リーダーの養成、自転車に乗る楽しさに触れるサイクリングイベントの開催など、市民や事業者の皆さんと一緒に「自転車を利用しやすいまちづくり」に取り組んでいます。



出張自転車デーの様子

自転車は生活に密着した身近で手軽な乗り物ですので、市民の皆さんの率直な声を聞くことも多く、新しい発見がたくさんできるやりがいのある仕事です。

自転車まちづくり推進室（平成24年度入庁 女）

堺市土木職

Q&A

Q 民間企業の土木職との違いは何ですか？

まちの将来ビジョンを見据えて、構想・企画立案から携わり、まさに「まちづくり」を経験できます。自分たちがつくったものがどのように使われているか、間近で感じることができるなど、仕事の結果と市民サービスが直結しているのが、苦勞も多いですが完遂したときの達成感には特別なものがあります。計画～建設～管理と幅が広いですが、その分、色々な経験ができ、ゼネラリストとして活躍できます。

Q 女性にとっても働きやすい職場ですか？

休暇制度等が充実しており、先輩や同期の女性職員が育児と仕事の両立をしているのでキャリアデザインを描きやすい職場です。土木職の女性の占める割合はまだ低いですが、他部署や他職種の女性職員同士で意見交換をする機会もたくさんあります。また、地元説明会、市民対応等で、話しやすくて良かったと喜ばれることも多くあります。

Q 土木職独自の研修はあるの？

部署ごとに、国土交通大学校や日本下水道事業団等での研修があり、積極的に参加しスキルアップを図ることができます。また、各部署内で必要なスキルを身につけるための職場内研修を実施しており、自らプレゼンテーションを行うなど自己アピールも可能です。自己啓発のためのサポート制度もあります。

Q 人事異動はどのように行われていますか？

まちづくり・道路・公園・河川・上下水道など様々な分野があり、異動についての自己申告制度もあります。また、土木部門だけでなく、政策立案部門など市政全般にわたる部局への異動もありますので、様々な分野で活躍することができます。異動により人間関係が広がり、気軽に相談できる相手が増え、仕事の効率もアップします。

Q 土木施工管理技士等の資格って必要ですか？

建設会社や建設コンサルタント等の受注者との協議など、技術士や土木施工管理技士の知識やスキルが必要となる機会も多く、資格取得をめざす職員もたくさんいます。技術士資格取得に向けた庁内勉強会に参加することも可能です。また、各部署の要請に応じて、取得した資格を最大限に活かすことが可能となる「人材能力バンク」制度があります。

主な配属先

- ▶建設局
土木部、道路部、大和川線推進室、公園緑地部、自転車まちづくり推進室※
※組織改正により、平成27年4月1日から自転車まちづくり部に変更予定
- ▶建築都市局
都市計画部、都市再生部、交通部、都市整備部、開発調整部
- ▶上下水道局
水道部、下水道部、営業部
▶産業振興局
農政部

—— 上記以外にも土木職が活躍する場があります。

問合せ先



堺市人事委員会事務局

堺市 職員採用

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号
TEL.072-228-7449(直通) FAX.072-228-7141

【平成27年3月発行】堺市行政資料番号 1-C5-15-0006



堺市ホームページ
(パソコン版)



堺市職員採用
フェイスブック



土木職はまちのエンジニア

道路や上下水道、公園など、私たちの生活に欠かせないものをつくるだけではありません。まちづくりを企画し、まちを整備し、公共施設の修繕や維持管理をする。人々が快適に暮らしていけるようにまちを見守るのが土木職の仕事です。

堺市の土木職はこんな仕事に取り組んでいます

阪神高速大和川線事業

関西圏のビッグプロジェクトである阪神高速大和川線事業に取り組んでいます。この事業は、阪神高速道路(株)と行政がタイアップした4,000億円を超える事業規模となっており、多くの関係者や技術者と同じ目標に向かって整備しています。

深さ約30mも掘削する工事や直径約12mのシールドマシンで地中を掘るなどして、高速道路をつくることはなかなか経験できない工事です。また、工事の安全性や工程の短縮等について、多くの技術者と調整を行っています。

このような大規模な事業を担当できることは自分にとっても貴重な経験であり、また、この事業に携われることに誇りを持ち、一日でも早く高速道路が開通できるように日々業務に励んでいます。

大和川線推進室(平成23年度入庁 男)



南海本線連続立体交差事業

南海本線連続立体交差関連事業で、浜寺公園駅舎(明治40年建築)や諏訪ノ森駅舎(大正8年建築)という歴史的価値の高い駅舎の保存活用を行っています。両駅周辺の空間は将来にわたってまちの顔となるもので、駅舎と調和のとれた駅周辺の景観形成ができるよう、コンペ等の新しい取組を行いながら進めています。

市民の皆さんから直接声を聞くチャンスが多く、やりがいがあります。連続立体推進課(平成17年度入庁 女)



橋梁耐震・長寿命化事業

大規模地震や老朽化に備え、橋の耐震及び長寿命化工事を行っています。

仕事は高い技術を必要とし、苦勞もありますが、橋の設計・発注・現場監理から日常の点検・管理に至るまで、一貫して行えるため、非常にやりがいがあります。

道路整備課(平成19年度入庁 男)

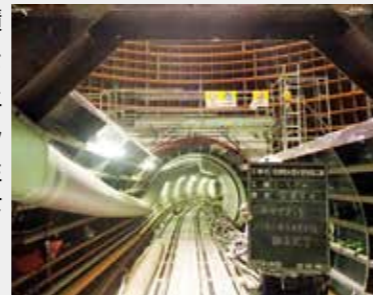


下水道施設建設事業

工事発注の設計、積算から工事監督までを行っています。道路上から見てもマンホールしか見えませんが、生活に役立つ施設を地下につくっているという自負があります。

シールドや推進工事が貫通したときには何とも言えない喜びがあります。

下水道建設課(平成22年度入庁 男)



水道施設の更新計画策定

経年劣化した水道施設(配水池や水道管)が増大していく中で、今後の水需要を予測し、優先順位を決めて更新計画を策定しています。事業が円滑に進むよう他事業との事前調整も行っています。

生活に欠かせない水道を健全に維持していく重要な仕事に携われてとてもやりがいを感じます!

配水計画課(平成18年度入庁 女)



百舌鳥古墳群緩衝地帯の保全事業

百舌鳥古墳群の世界文化遺産登録に向け、建物の高さや色彩、屋外広告物の掲出に関するルール作り等に取り組んでいます。世界文化遺産登録に向けた仕事に携わり、周辺の景観づくりから住民説明会の実施など、業務は多岐にわたっています。

堺を代表する文化遺産である百舌鳥古墳群を守りながら、その壮大さや良さを感じる景観づくりに関われることを誇りに思い業務にあたっています。

都市景観室(平成24年度入庁 女)



住民説明会の様子

公共交通利用促進

市民の暮らしに欠かせない路線バスや、堺市のまちづくりを行ううえで重要な存在である府内唯一の路面電車「阪堺線」等の利便性を向上させ、公共交通機関の利用促進を図っています。

例えば、交通系ICカードを路線バスでも使えるようにするシステムや乗降口に段差のないノンステップバス等を事業者が導入する際に、一部補助を行っています。路面電車では、利用者数増加に向けた運賃施策や、安全な運行を継続するためのレール等の保安・保守、バリアフリー・デザイン性に優れた堺トラム(低床式車両)の導入への支援等を行っています。

日々、市民の方の声を聞きながら、バスや鉄道事業者、関連機関との協議、調整、手続き等の業務に取り組んでいます。

公共交通課(平成25年度入庁 男)

交通政策課(平成24年度入庁 女)



道路の新設・維持管理

道路の用地を買収することから、設計・工事の発注まで幅広く携わることができます。地元の方と一緒に作り上げた道路が、地域や市民の方の生活基盤になっているのを見ると、色々な苦勞が報われ、本当に嬉しい気持ちになります。道路供用開始後も、安全・円滑で快適な道路機能を維持・向上させるために、市民の皆さんからの幅広い要望に迅速に対応しています。

夜間の現場監督など大変なこともたくさんありますが、市民の皆さんからの「ありがとう」が仕事への原動力です!

道路計画課(平成19年度入庁 男)

西部地域整備事務所(平成21年度入庁 男)



公園整備・緑化推進・緑地保全

本市のシンボルパークである大仙公園や野球場を建設する原池公園の整備をはじめ、既存公園のバリアフリー化・防災機能の強化など、地域の住環境の向上に繋がる設計・整備を行います。また、府内唯一の路面電車が通っている大道筋沿線の花壇緑化や本市南部丘陵における里山保全など、市民・企業・大学等との協働により緑化推進・緑地保全を進めています。

公園緑地整備課(平成18年度入庁 女)

同課(平成19年度入庁 男)



花壇緑化



里山保全



公園整備